

特殊詐欺の認知状況（令和3年7月末）

- 1億円を超える高額被害が発生 -

1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和3年7月末）

- 被害認知件数は**44件**（前年同期比+27件）
- 被害総額は**約1億7,891万円**（前年同期比+約1億462万円）

2 令和3年7月の認知状況

- 被害認知件数は**9件**（前年同月比+7件）
- 被害額は**約1億2,866万円**（前年同月比+約1億2,651万円）
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 ～8件
 - ・ 還付金詐欺 ～1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（令和3年7月中）

「もってこいネットワーク通信第24号」でお知らせしたとおり、諫早市内において**高額被害を認知**しました。

犯人は全国防犯協会の「ツダ」などを名乗り、被害者宅に電話をかけて

「あなたは名義貸しで刑事処分を受けることになる」

「早期解決のために示談金を支払ってもらう」

などとうそを言って、被害者から**総額1億円以上**をだまし取りました。

電話やメールでお金のお話が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談！

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢		令和3年7月末(人)		
		男性	女性	計
0	～ 19	-	1	1
20	～ 29	-	1	1
30	～ 39	-	1	1
40	～ 49	2	1	3
50	～ 59	4	4	8
60	～ 64	4	5	9
65	～ 69	4	12	16
70	～ 79	1	3	4
80	～ 89	-	1	1
90	～	-	-	-
合計		15	29	44
うち65歳以上の高齢者		5	16	21

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年7月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	29
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	13
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	44